

暖かな日差しに包まれた3月14日土曜日、東洋英和女学院大学大学院の学位授与式が六本木校地行われ、人間科学研究科18名、国際協力研究科7名、計25名の修了生に修士の学位が授与されました。

野田美由紀先生の聖書朗読・祈祷は、晴れてこの日を迎えた修了生を温かく見守るものでした。

星野三喜夫学長の式辞は、生成AIが社会に影響を及ぼす中、より良い社会に向かわせるには、生成AIを活用し歴史や哲学から学ぶ事が大切である事を述べられました。

高橋貞二郎先生の祝辞は、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの言葉「闇に闇を追い払うことはできない。光だけがそれを可能にする。」を引用され、東洋英和女学院での学びは、真実の神を敬い、人を隣人のように愛する「敬神奉仕」そのものであり、これからも実践して欲しいと述べられました。

修了生代表によるお礼のお言葉では、「臨床実習において人の苦悩に向き合う経験を通じて、臨床者として人生に関わる事の意義を感じた事、東洋英和女学院の学び舎で共に励ましあう仲間と巡り合い、かけがえのない時間を過ごした」と述べられ、学位を授与された事の喜びを噛みしめていました。

同窓会役員一同、東洋英和女学院の伝統と格式を再認識し、過去に学んだ修了生の一人として、大きな誇りを感じた素晴らしい一日となりました。

大学院同窓会